

Build your own Ford **Mustang** 1967 SHELBY GT-500™

第1回配本

1



METAL BODYWORK
SCALE **1:8**





第1回配本 組立内容

STAGE 1	フロントバンパーとエンブレムプレートを作る	3
STAGE 2	前輪を作る(ホイールとタイヤを組み上げる)	7
STAGE 3	インテークマニホールド(吸気装置)、ロッカーカバー、エアフィルターを作る	11
STAGE 4	ボンネット、フロントグリル、フォグランプ、エンブレムを作る	15
STAGE 5	運転席の背もたれを作る	19

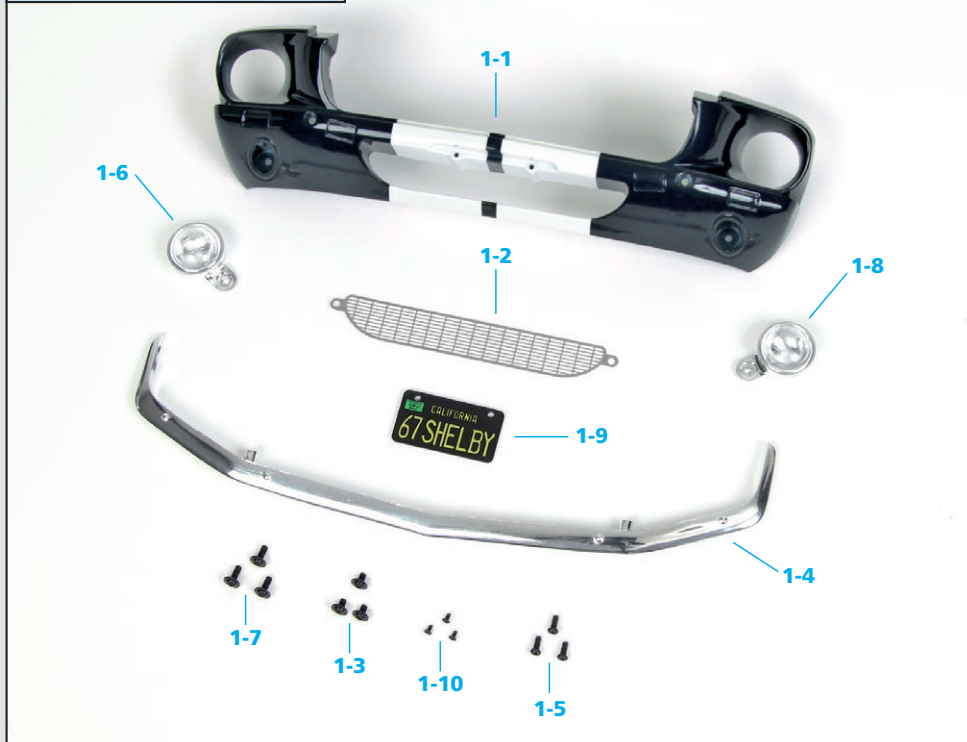


フロントバンパーと エンブレムプレートを作る

このステージのパーツ

- 1-1 : フロントパーツ
- 1-2 : ラジエーターグリル(下部)
- 1-3 : ビス2.3×3mm (MD02) ×3
- 1-4 : フロントバンパー
- 1-5 : ビス2.3×4mm (MP01) ×3
- 1-6 : ヘッドライト(右側)
- 1-7 : ビス2.3×6mm (MD01) ×3
- 1-8 : ヘッドライト(左側)
- 1-9 : ナンバープレート
(フロント用)
- 1-10 : ビス1.2×3mm (MD03) ×3

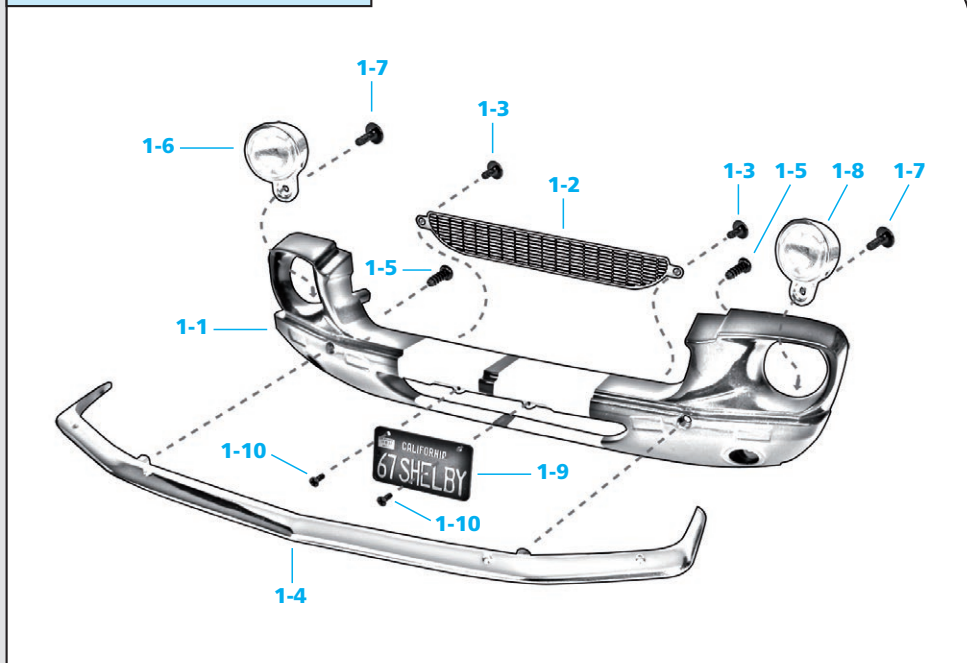
このステージのパーツ



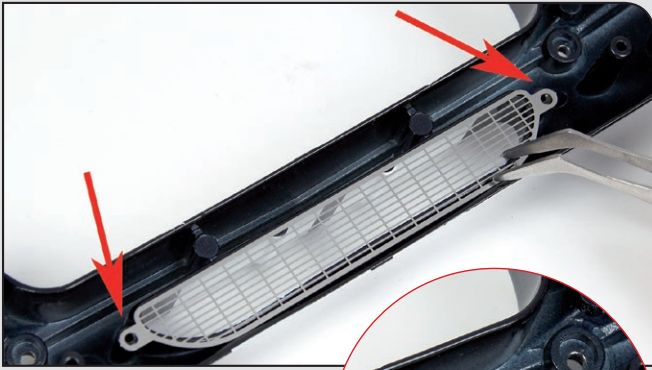
技術的なヒント

- 作業にはプラスのドライバーを用意してください。
- No.0とNo.1サイズのプラスドライバーが適しています。どのサイズが合うか作業の前にチェックしてみてください。
- ビス穴がきつくりづらい時は半回転くらい反転させてからまたネジ込む作業を繰り返してください。
- ドライバーのシャフトの部分を磁石で数回なでることで着磁ドライバーにすることができます。これによってビスをきっちり締めることができます。

組み立てレイアウト図

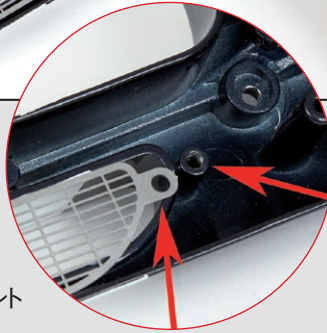


注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



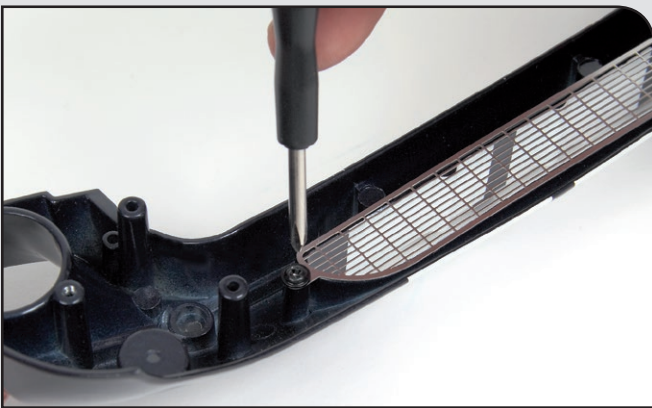
Step 1-A

フロントパーツ(1-1)の内側にラジエーターグリル(1-2)を写真のように取り付けます。ラジエーターグリルの穴とフロントパーツのビス穴を合わせます。



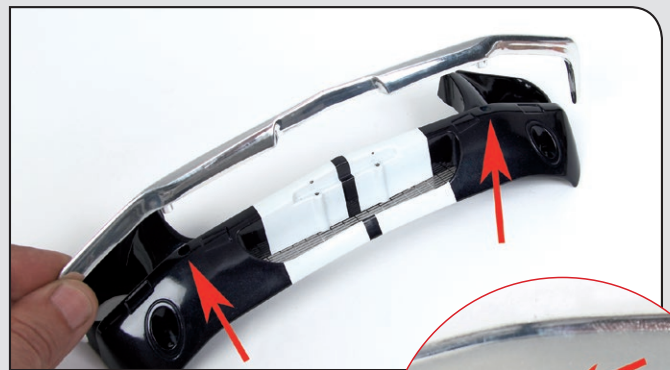
Step 1-B

MD02のビス(1-3)で軽く締めます。その後でもう片方のラジエーターグリルの穴とフロントパーツのビス穴を合わせます。



Step 1-C

同様にMD02のビス(1-3)で軽く締め、ラジエーターグリルとフロントパーツがきちり合っていることを確認した後に両方のビスをしっかり締めます。



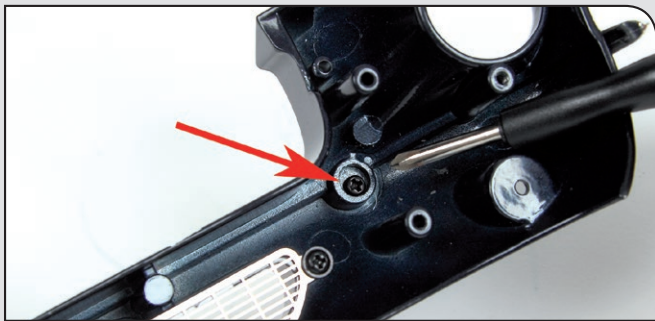
Step 1-D

フロントバンパー(1-4)の内側の2つのピン状の突起部をフロントパーツの穴(赤矢印の部分)に合わせ、バンパーを軽く押し込みます。



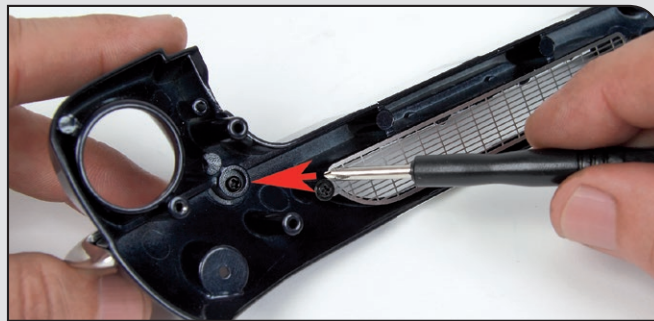
Step 1-E

フロントバンパーの中央部分が対応するノーズ部分(矢印)と位置が合っていることを確認します。



Step 1-F

MP01のビス(1-5)を使い、バンパーが固定されるよう、フロントパーツの穴(赤矢印部分)をビスで軽く締めます。



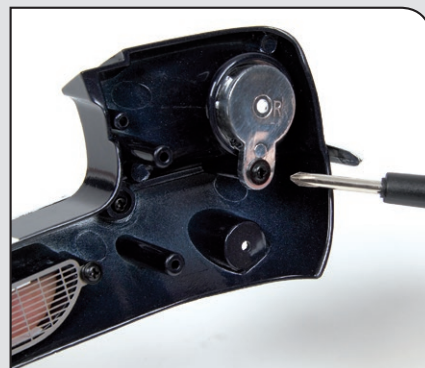
Step 1-G

反対側も同様にMP01のビス(1-5)を使い、軽く締めます。バンパーが正しく合っていることを確認し、両方のビスをしっかり締めます。



Step 1-H

R(右側)と記されたヘッドライト(1-6)をフロントグリル前方から入れ、ビス穴がぴったり合うようにセットします。



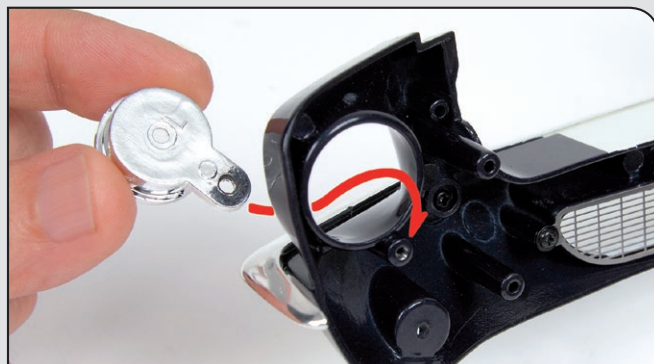
Step 1-I

ヘッドライトをMD01のビス(1-7)で締めて固定します。



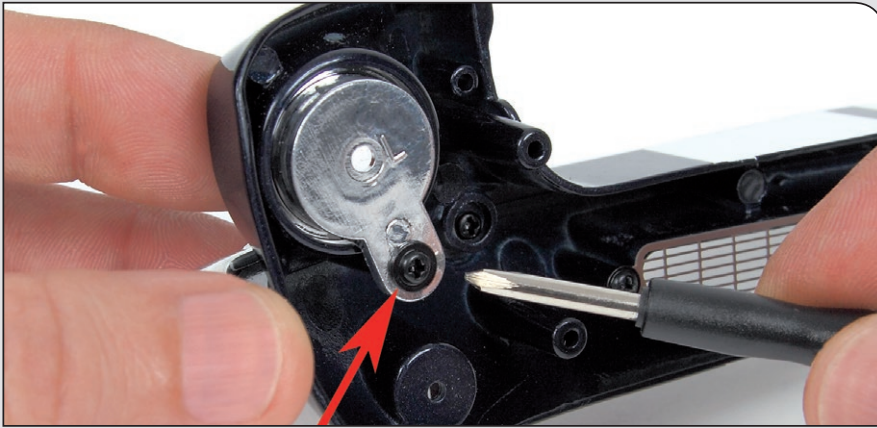
Step 1-J

写真は右ヘッドライトが取り付けられた状態です。



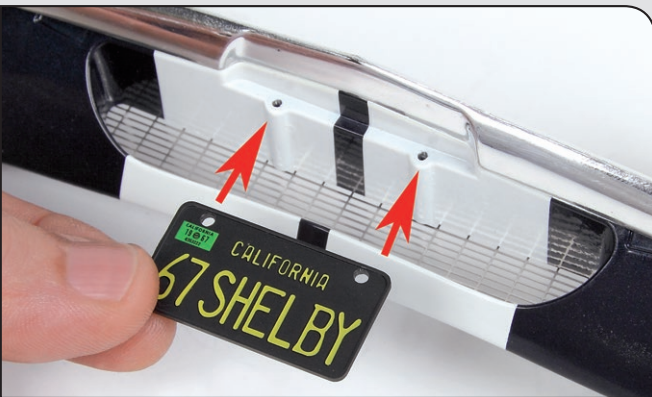
Step 1-K

L(左側)と記されたヘッドライト(1-8)を同じようにフロントグリル前方から入れ、ビス穴がぴったり合うようにセットします。



Step 1-L

同様にヘッドライトをMD01のビス(1-7)で締めて固定します。



Step 1-M

ナンバープレート(1-9)を正面に取り付けます。



Step 1-N

MD03のビス(1-10)2本でナンバープレートを固定します。ビスを締めすぎないように注意してください。

STAGE COMPLETE





前輪を作る (ホイールとタイヤを組み上げる)

このステージのパーツ

- 2-1 フロントホイール
- 2-2 フロントタイヤ
- 2-3 ステアリングナックル
- 2-4 ブレーキディスクシールド
- 2-5 ブレーキディスク
- 2-6 ブレーキキャリパー
- 2-7 ビス1.2×3mm (MD04)×1
- 2-8 ビス2.3×3mm (MD02)×1
- 2-9 シェルビーロゴホイールカバー
- 2-10 ドライバー

このステージのパーツ



技術的なヒント

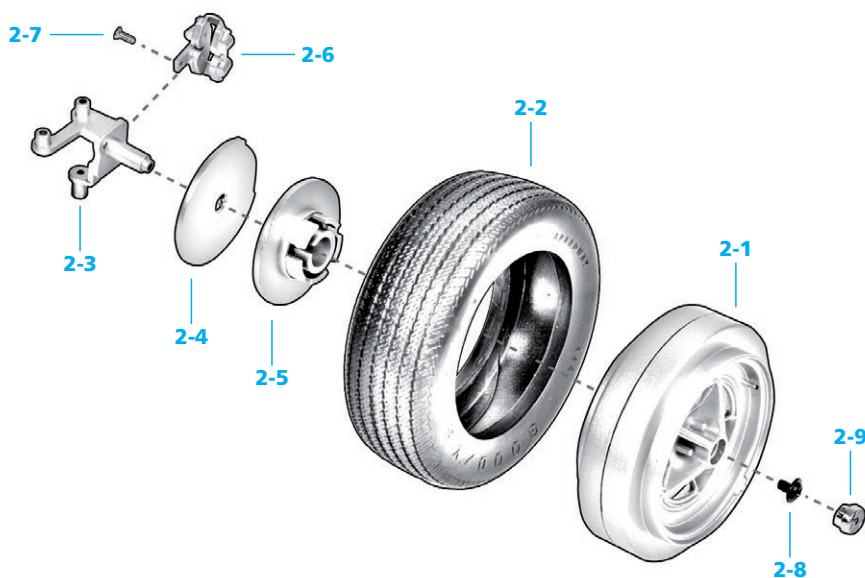
タイヤをホイールに嵌め込むには、タイヤをお湯で十分に温めて(60℃～70℃で2～3分程度)、タイヤを柔らかくしてから嵌め込んで下さい。タイヤをお湯から取り出す時はトンクを使用する等、やけどをしないよう十分に注意して下さい。

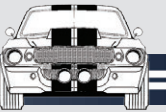
更にホイールとタイヤにタイヤワックスを塗布すると嵌め込みやすくなります。(タイヤワックスはカーショップ、ホームセンターなどで購入できます) 作業は下にタオルを敷くなどして、滑らないように注意して下さい。



注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。

組み立てレイアウト図





Step 2-A

7ページの「技術的なヒント」の説明に従ってタイヤ(2-2)を柔らかくします。

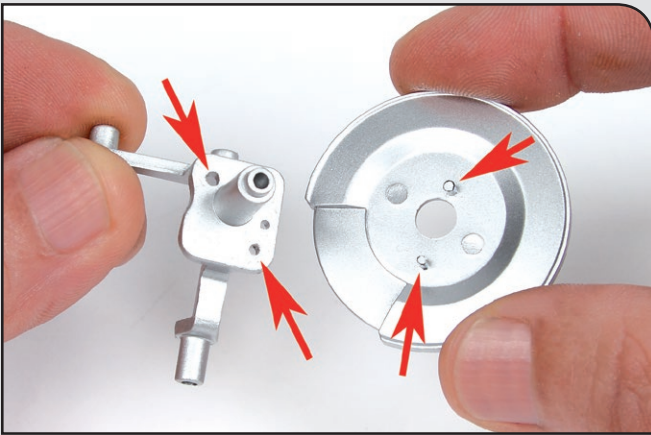
タイヤがまだ温かいうちにホイール(2-1)に嵌め込みます。



Step 2-B

タイヤをホイールに正しく装着して、タイヤがしっかりと固定されていることを確認します。

タイヤが冷えて固定されるまでに両側が均等になるように気を付けて下さい。



Step 2-C

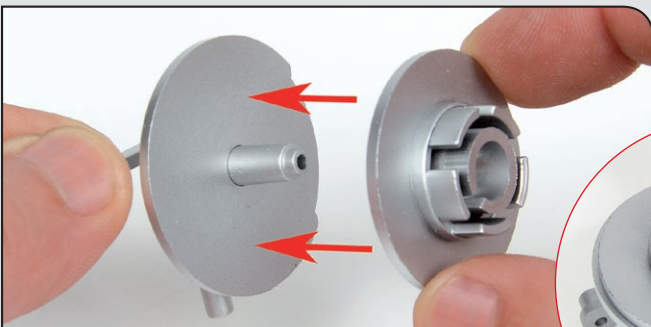
ステアリングナックル(2-3)とブレーキディスクシールド(2-4)を組み合わせます。

組み立てるときは、ブレーキディスクの2つのスタッドシールドがステアリングナックルの2つの穴に入るように合わせて下さい(矢印参照)。



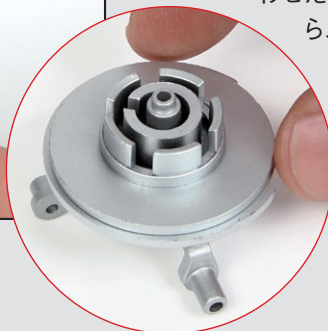
Step 2-D

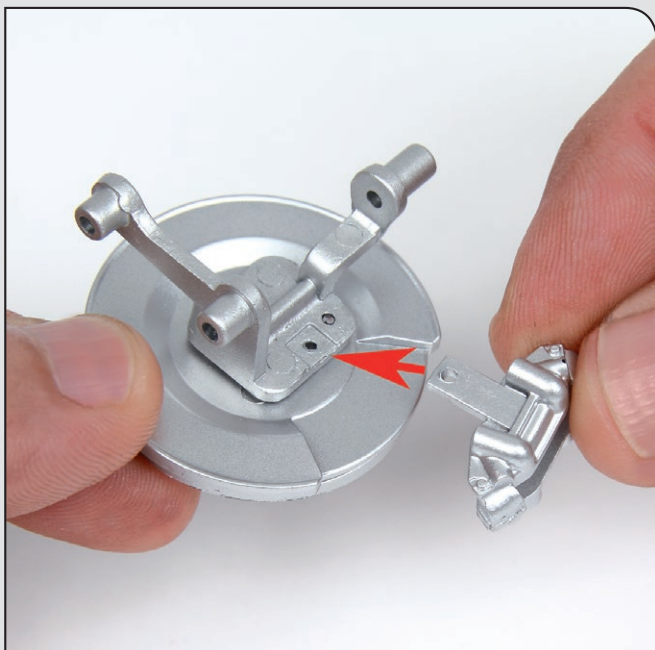
ステアリングナックル(2-3)とブレーキディスクシールド(2-4)をしっかりと組み合わせると上記の写真のようになります。



Step 2-E

ブレーキディスク(2-5)とナックルとディスクシールドを組み合わせたものを、図のような向きに持ちます。それからスピンドルを押し、ブレーキディスクの中央の穴に差し込みます。ブレーキディスクが自由に回転することを確認して下さい。





Step 2-F

ブレーキキャリパー(2-6)をブレーキディスクの凹部に置き穴の位置を合わせます。



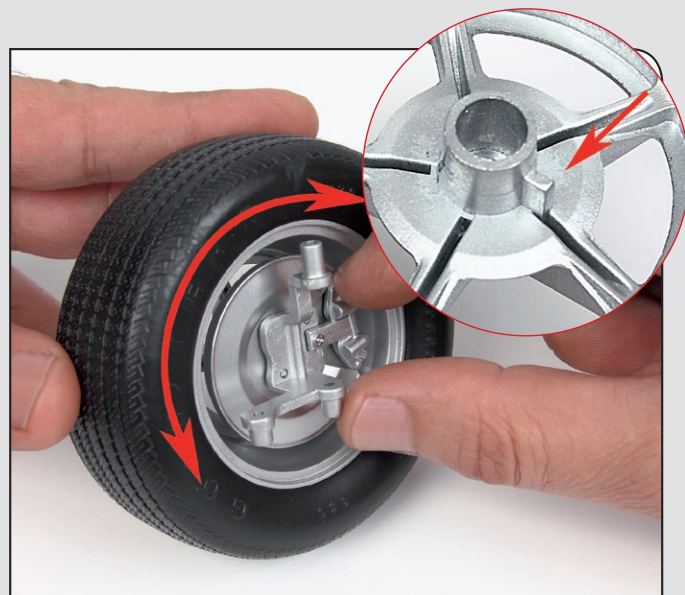
Step 2-G

MD04のビス(2-7)で固定します。キャリパーを固定してもブレーキディスクは回転することを確認してください。



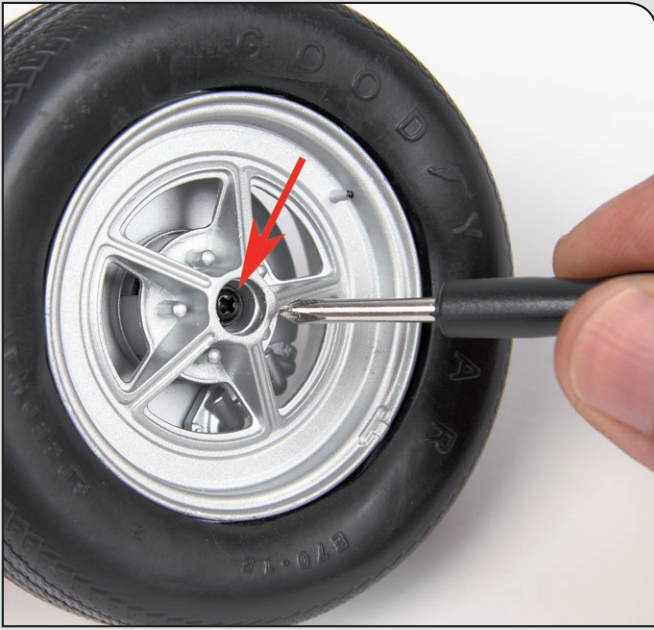
Step 2-H

組み立てたブレーキディスクをホイールの内側に組み合わせます。



Step 2-I

ホイールの突起部(矢印)にブレーキディスクの対応するノッチの位置を合わせ差し込みます。



Step 2-J

中央の穴にMD02のビス(2-8)を差し込みます。
ブレーキディスクが所定の位置になるように注意しながらビスを締めます。



Step 2-K

ロゴの入ったホイールカバー(2-9)をホイールの中央部分に取り付けます。



STAGE COMPLETE



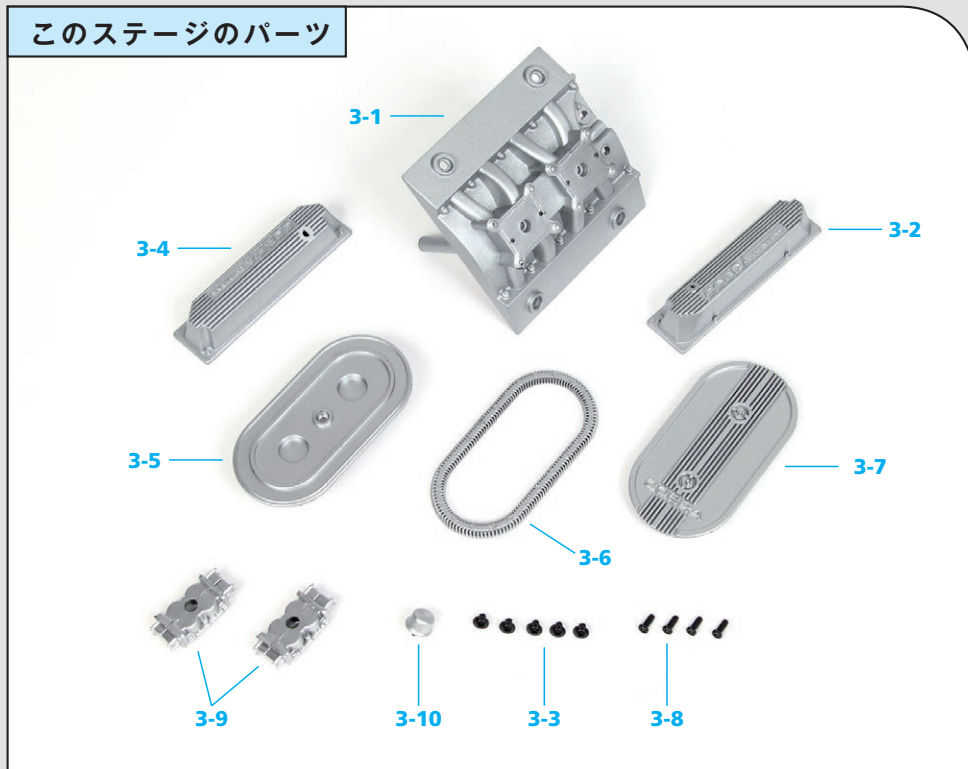


インテークマニホールド (吸気装置)、 ロッカーカバー、エアフィルターを作る

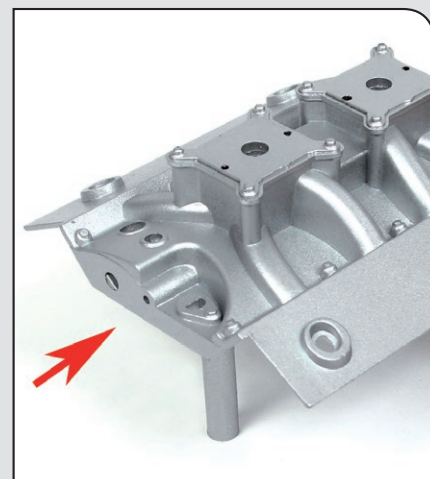
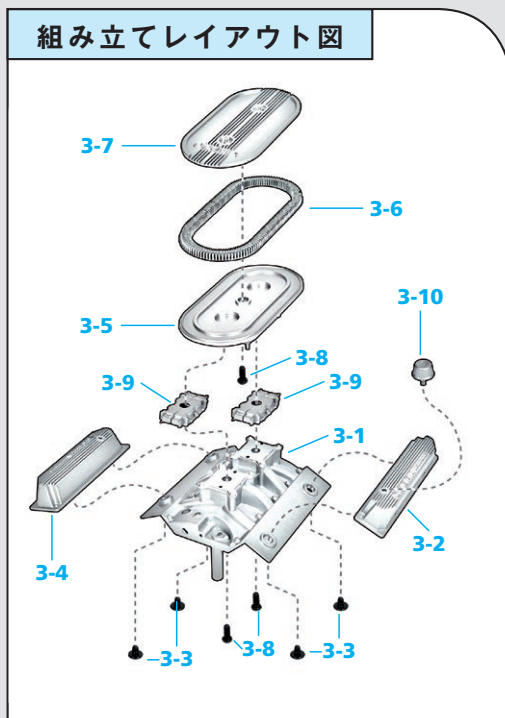
このステージのパーツ

- 3-1 インテークマニホールド
- 3-2 左ロッカーカバー
- 3-3 ビス2.3×3mm(MD02) ×5
- 3-4 右ロッカーカバー
- 3-5 エアクリーナーベース
- 3-6 エアクリーナーエレメント
- 3-7 エアクリーナーカバー
- 3-8 ビス2.3×4mm(MP01) ×4
- 3-9 キャブレッター
- 3-10 ロッカーキャップ

このステージのパーツ



組み立てレイアウト図



Step 3-A

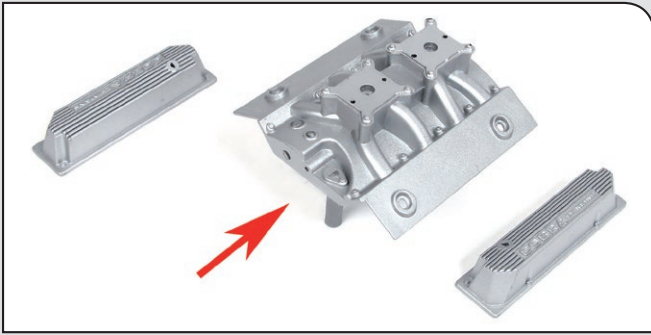
矢印はインテークマニホールド(3-1)の正面を示します。マニホールドの左右が簡単にわかるようにどちらの端が正面か事前に確認しておきます。

Tips

●右と左

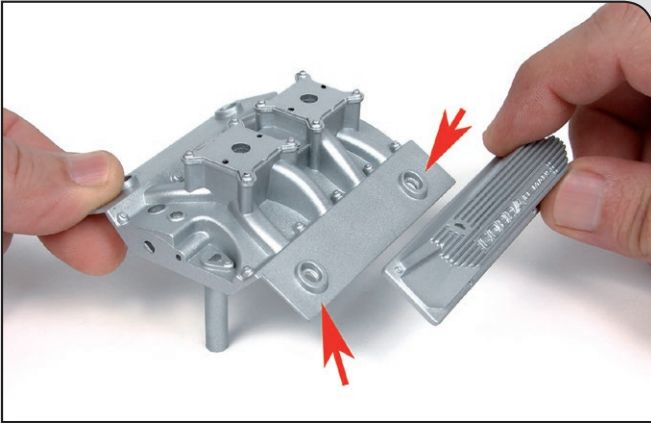
組み立てる際「右のパーツ」「左のパーツ」という場合、それは常にドライバーの視点から見た右か左を意味します。つまり、あなたがハンドルの後ろに座っていたとして、あなたの右側が「右のパーツ」、左側が「左のパーツ」という事になります。

注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



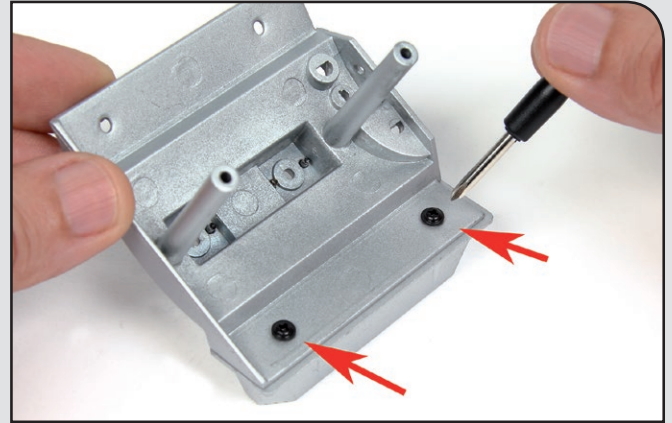
Step 3-B

左ロッカーカバー(3-2)と右ロッカーカバー(3-4)をマニホールドに沿って取り付けます。矢印は正面を示していますので、左右を間違わないように取り付けます。



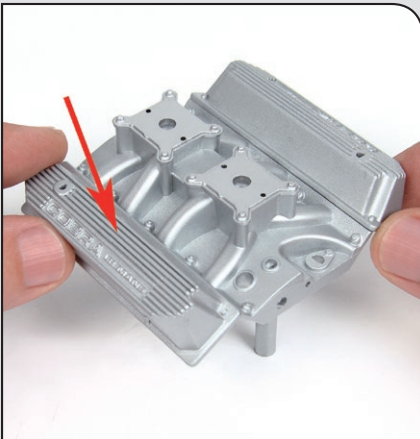
Step 3-C

最初に左のロッカーカバー(3-2)をマニホールド(3-1)の2つの穴に合わせて置きます。



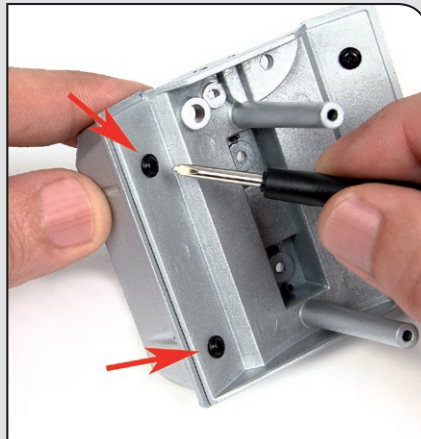
Step 3-D

ロッカーカバーがずれないように注意しながらマニホールドを裏返し、MD02のビスを2つ差し込みます。最初に片方のビスを半分締め、同じようにもう片方のビスも半分締めます。その後両方のビスをしっかり最後まで締めます。



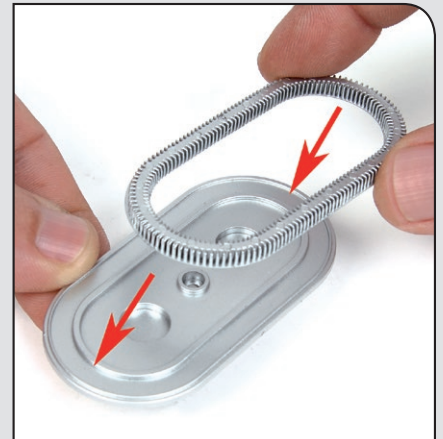
Step 3-E

次に右のロッカーカバー(3-4)とマニホールドを正しい位置に合わせます。



Step 3-F

左のロッカーカバーを取り付けた要領で2つのMD02のビスで取り付けます。



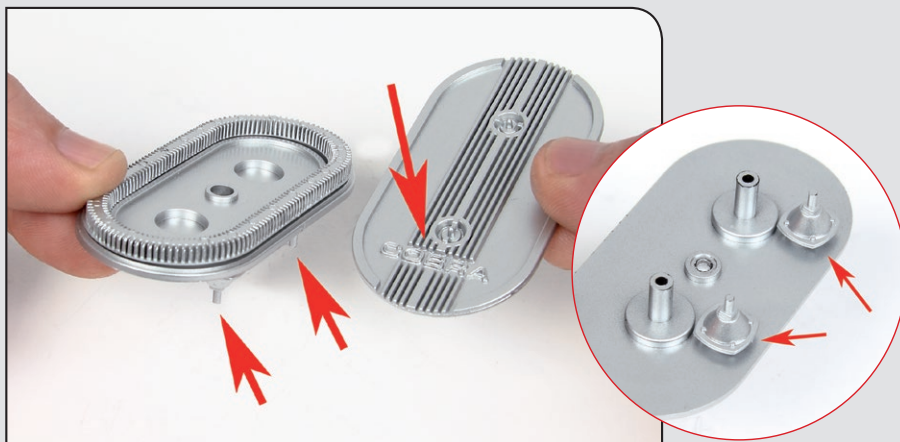
Step 3-G

次にエアクリーナーエレメント(3-6)をエアクリーナーベース(3-5)の溝の部分に合わせます。



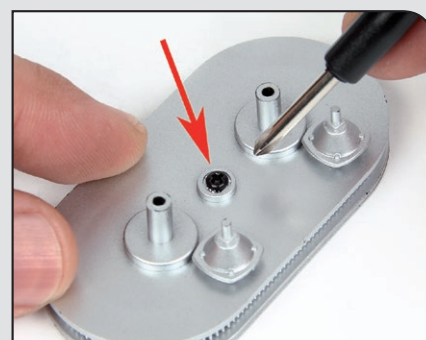
Step 3-H

エアクリナーベース(3-5)を裏返します。裏側の2本のピン(矢印)は図のように配置されています。エアクリナーカバー(3-7)のCOBRAと書かれた部分を手前にして持ちます。



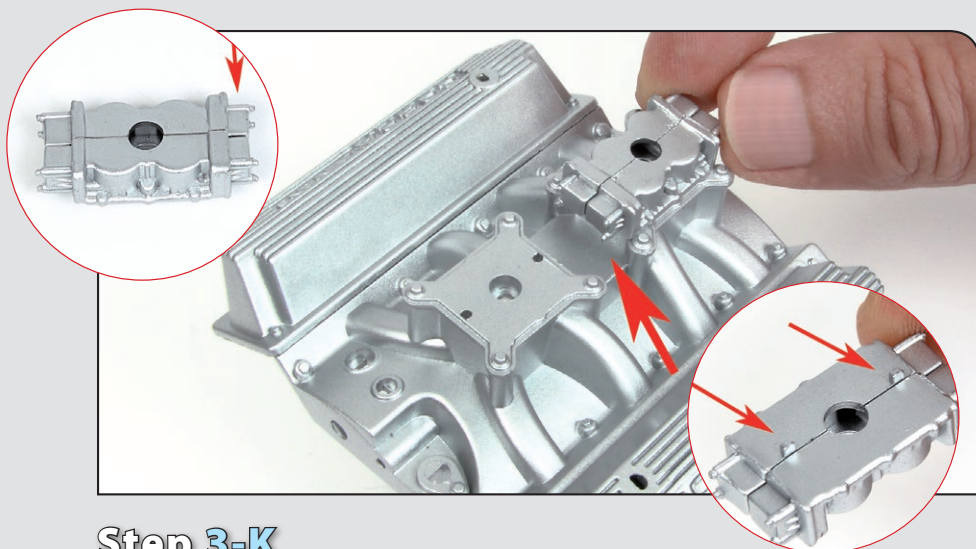
Step 3-I

エアクリナーカバーを写真のようにエアクリナーと合わせます。



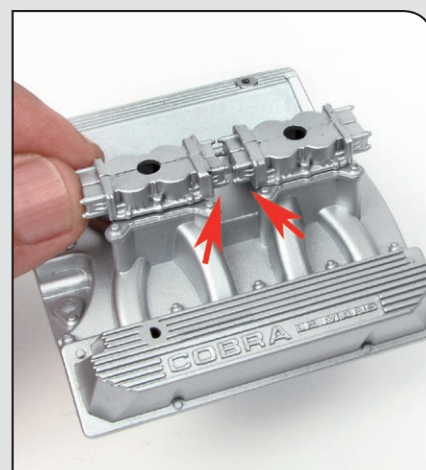
Step 3-J

2つのパーツを合わせたまま裏返して、MP01のビス(3-8)を差し込んで締めます。



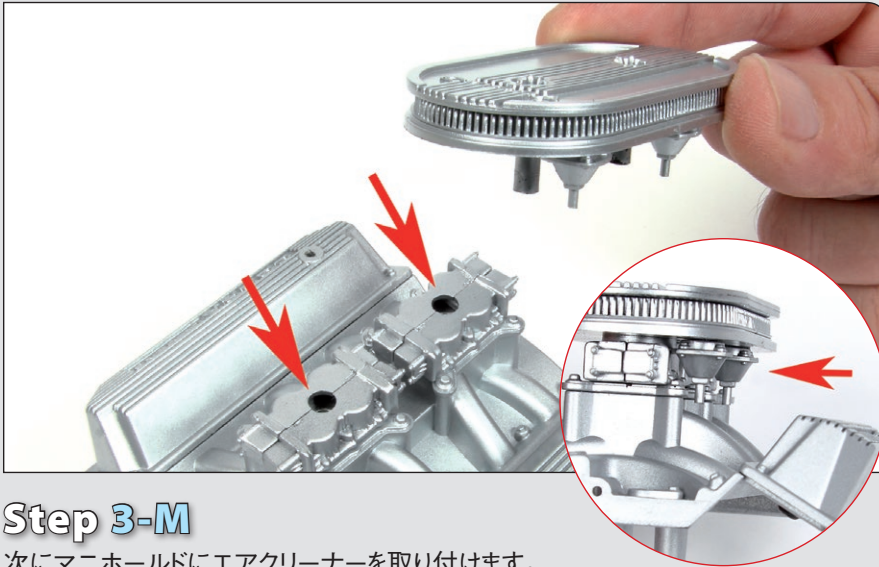
Step 3-K

キャブレター(3-9)を用意し、出っ張りの短い方(反対側より短い)の端を持ちます(左上の挿入図の矢印)。キャブレターの下面には2つの小さな突起があります(右下方の挿入図の矢印)。キャブレターの突起をマニホールドの対応する穴に合わせ、キャブレターの短い方の端部がマニホールドの前面を向くように設置します。



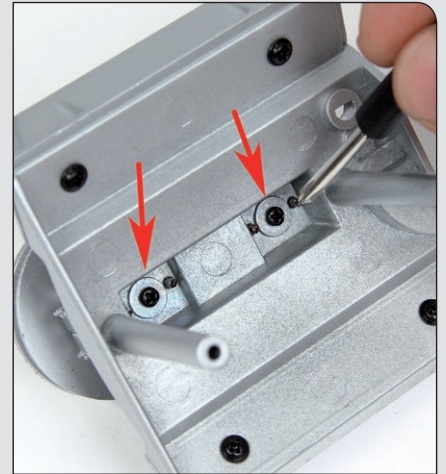
Step 3-L

2つ目のキャブレター(3-9)を取り付けます。一つ目と取り付け方は同様ですが、短い端部がマニホールドの後部を向くようにします。



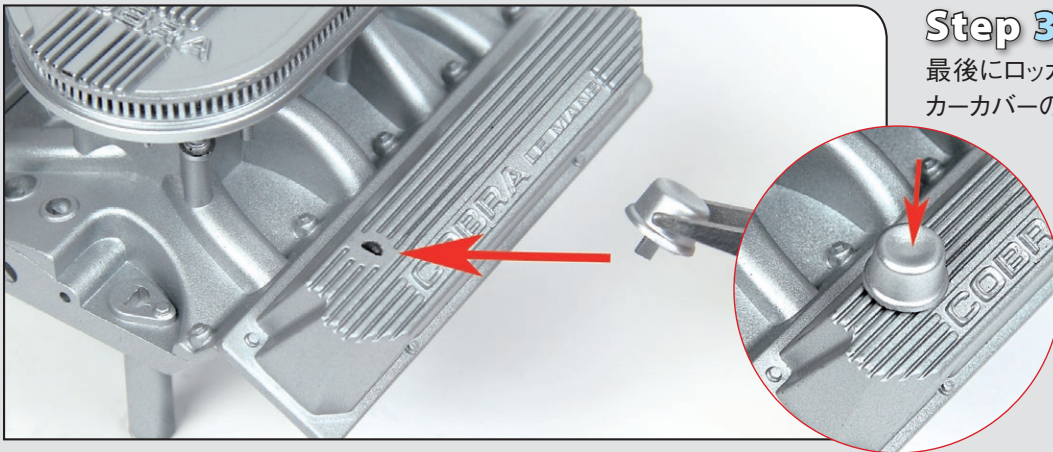
Step 3-M

次にマニホールドにエアクリナーを取り付けます。
矢印のようにエアクリナー下部の2つの突起がキャブレターの穴に合うように取り付けます。



Step 3-N

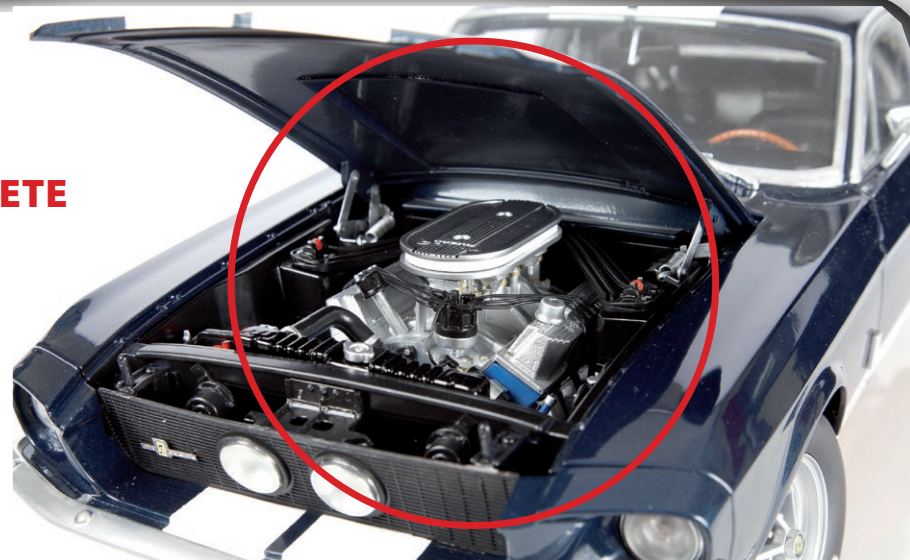
エアクリナーとマニホールドがずれないように裏返して、MP01のビス2本(3-8)で固定します。



Step 3-O

最後にロッカーキャップ(3-10)を左ロッカーカバーの穴に取り付けます。

STAGE COMPLETE

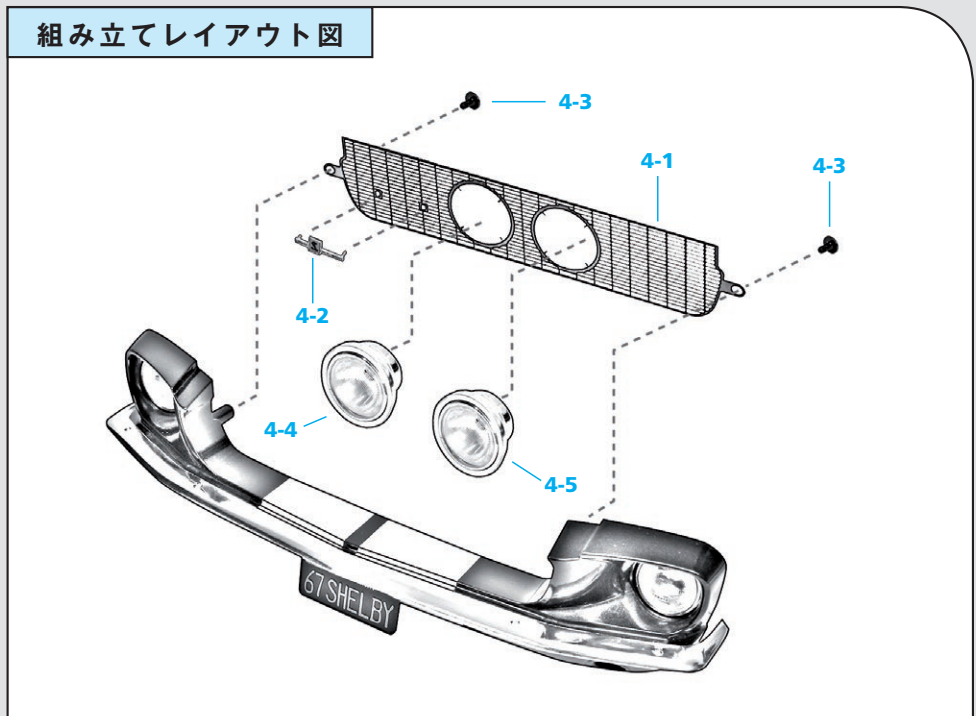
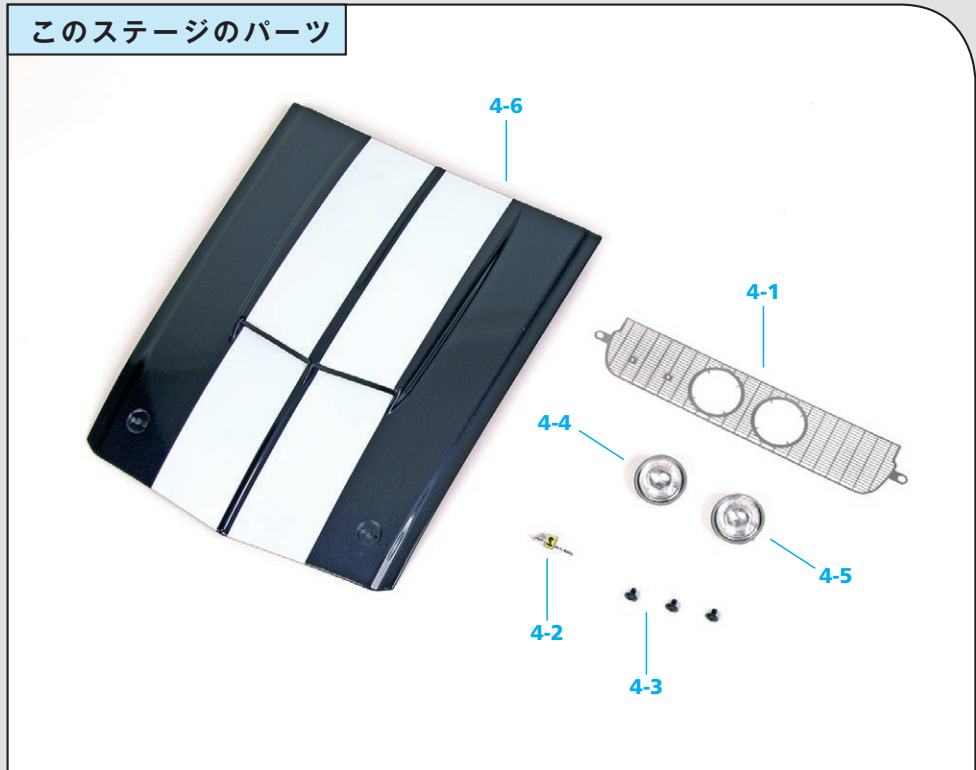




ボンネット、フロントグリル、フォグランプ、エンブレムを作る

このステージのパーツ

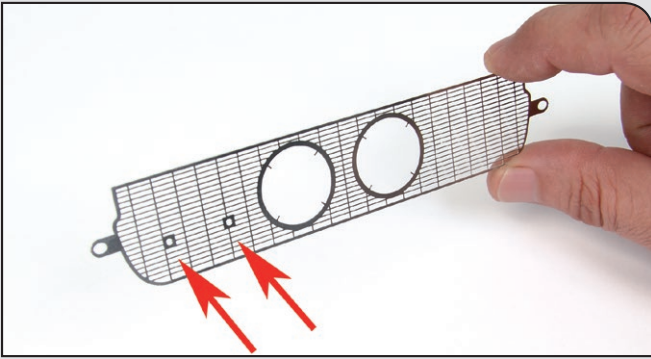
- 4-1 グリル
- 4-2 シェルビーロゴ
- 4-3 ビス2.3×3mm(MD02) ×3
- 4-4 右フォグランプ
- 4-5 左フォグランプ
- 4-6 ボンネット



Tips

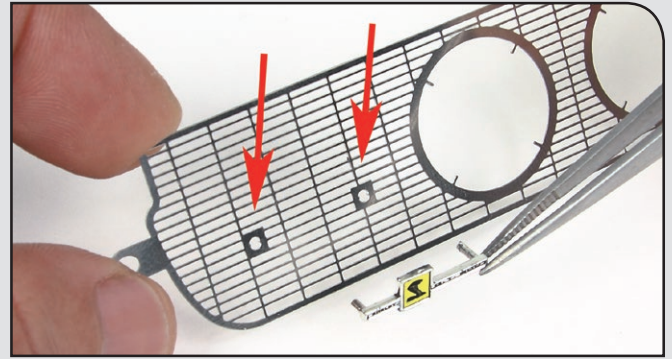
各号で提供されるパーツはその号で使用するとは限りません。先々の号で使用する事になるパーツがありますので、その場合は大事に保管しておいてください。
今回の号では予備ビスとボンネットがそれに当たります。

注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



Step 4-A

図のように左側に小さな2つの穴が開いているグリル(4-1)を用意します。

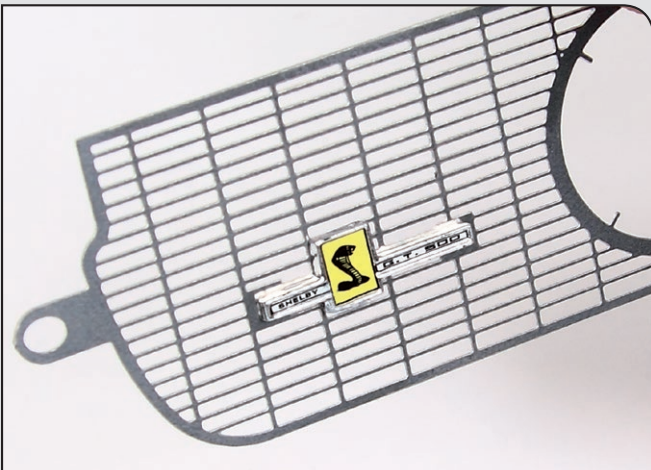
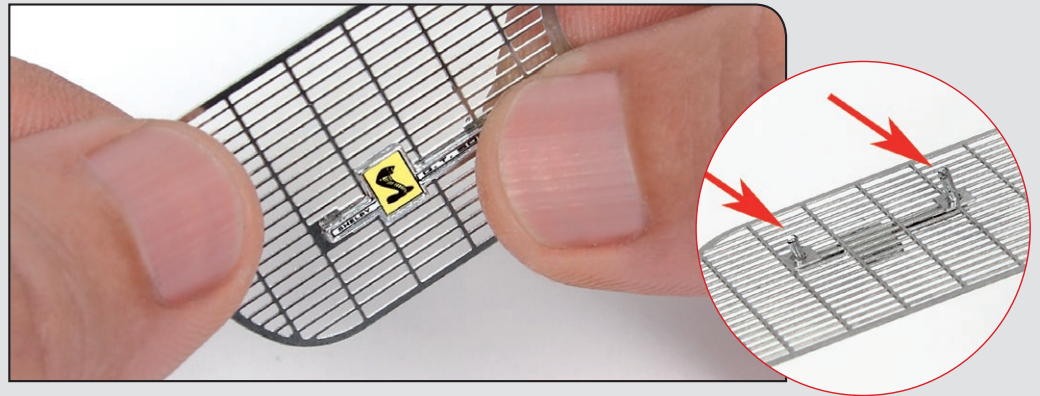


Step 4-B

ピンセットを使って、Shelbyのロゴ(4-2)を図のように2つの穴に差し込みます。

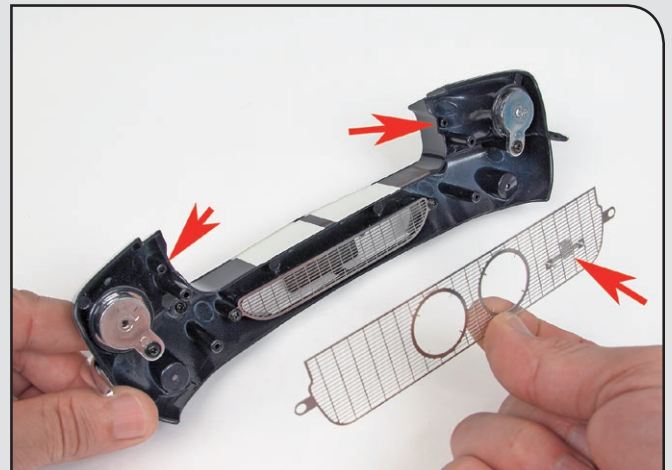
Step 4-C

コブラの絵のShelbyロゴを図のように突起がグリルの裏側に完全に出るように差し込みます。



Step 4-D

差し込むと写真のようになります。



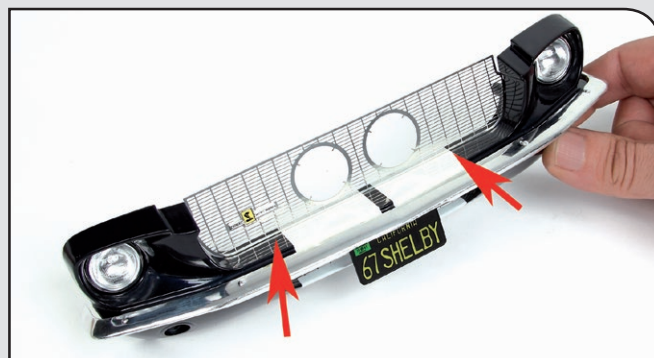
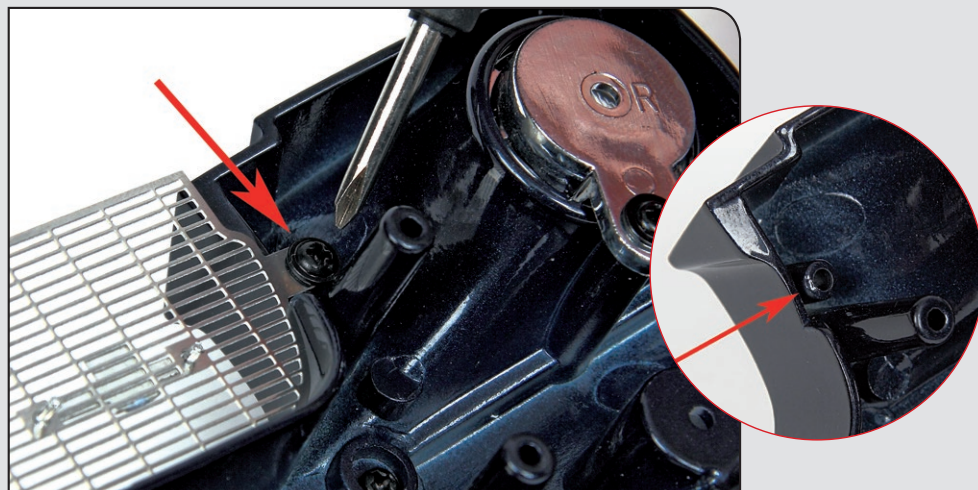
Step 4-E

1号で組み立てたノーズの裏側にShelbyのロゴが前方を向くように(矢印)グリルを取り付けます。グリルの両端の穴をノーズの2つの穴に合わせます(矢印)。



Step 4-F

グリルの右端の穴にMD02のビス(4-3)を差し込みノーズの穴(右側挿入図矢印)と合わせて軽く締めます。

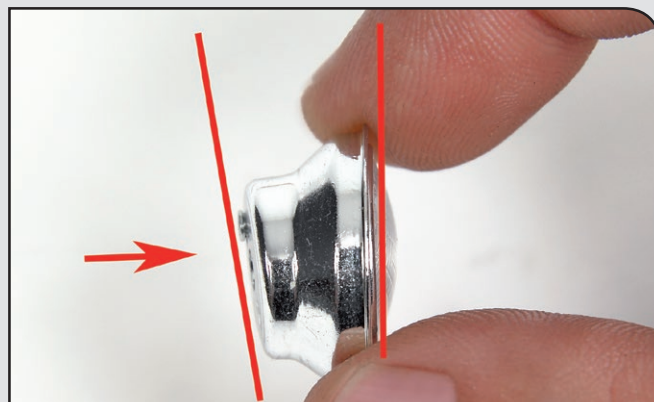
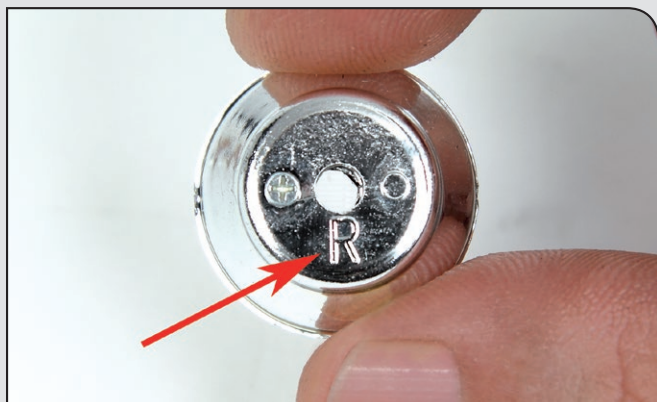


Step 4-G

もう一つのMD02のビスでグリルの左端の穴をノーズの穴に合わせて軽く締めます。

Step 4-H

ノーズを正面から見て、グリルの下部がノーズに接していることを確認してからビスをしっかり締めます。

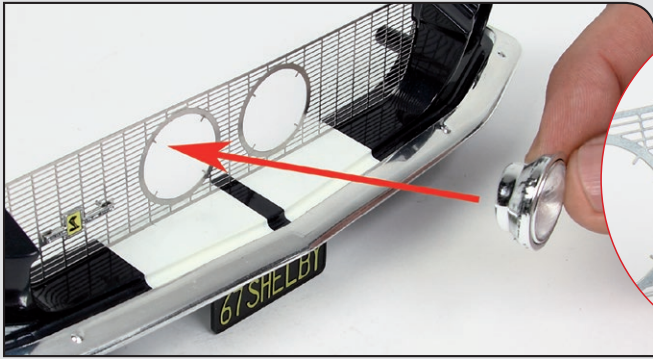


Step 4-I

Rの文字が入った右側フォグランプ(4-4)を用意します。

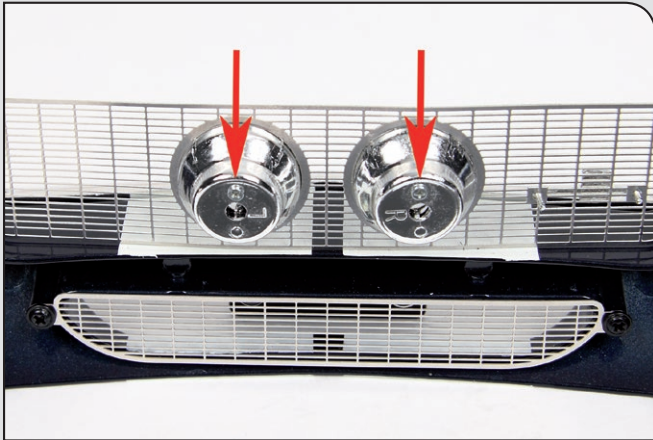
Step 4-J

フォグランプを側面から見ると写真のようにフォグランプの後部は角度が付いています。



Step 4-K

右側フォグランプの裏側のビスがある方を上にして(右挿入図矢印)、グリルの右側の穴に取り付けます。



Step 4-L

Lの文字が入った左側フォグランプも同様にグリル左側の穴に取り付けます。フォグランプの裏面のビスが入っている方が上に来るように注意して下さい(矢印)。

Step 4-M

ノーズを組み立てると写真のようになります。

STAGE COMPLETE





運転席の背もたれを作る

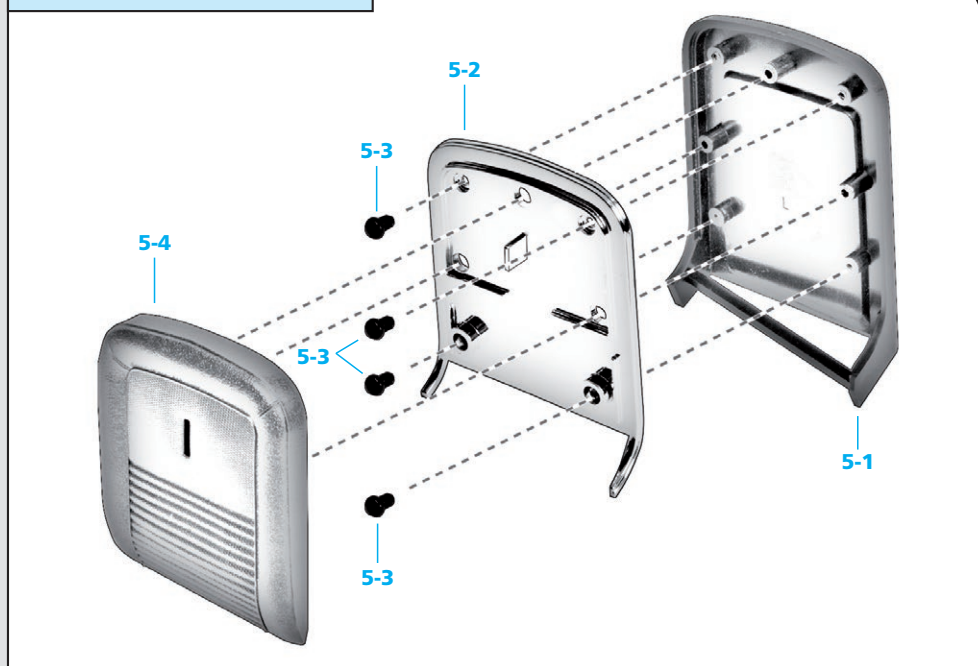
このステージのパーツ

- 5-1 左背もたれ(後部)
- 5-2 左背もたれ(フレーム)
- 5-3 ビス2.3×4mm(MP01)
×5
- 5-4 左背もたれ(前部)

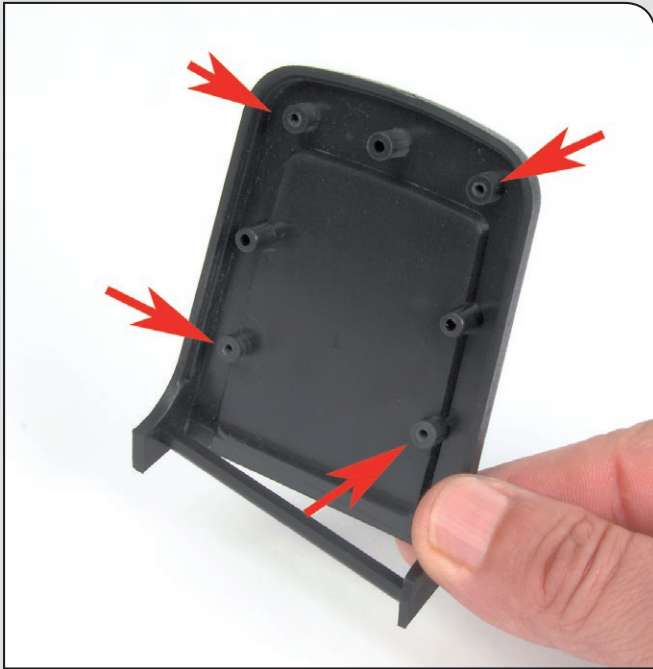
このステージのパーツ



組み立てレイアウト図



注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



Step 5-A

左シートの背もたれを組み立てる前に、背もたれ後部(5-1)の裏側に4つの穴が開いていることを確認してください。この穴は背もたれのフレーム(5-2)をビスで固定させるためのものです。



Step 5-B

上の写真のように背もたれのフレームを後部パーツの穴(矢印)に合うように置きます。



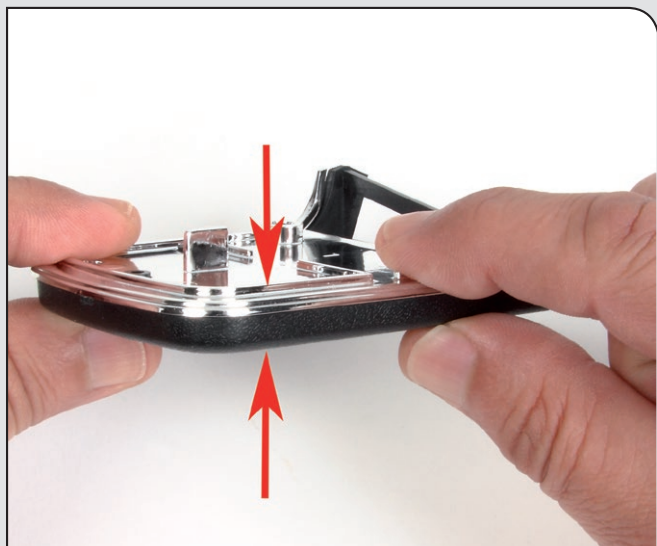
Step 5-C

2つのパーツをしっかり合わせます。



Step 5-D

背もたれ後部の3つの突起がフレームパーツの穴から突き出ているのを確認して下さい(矢印)。



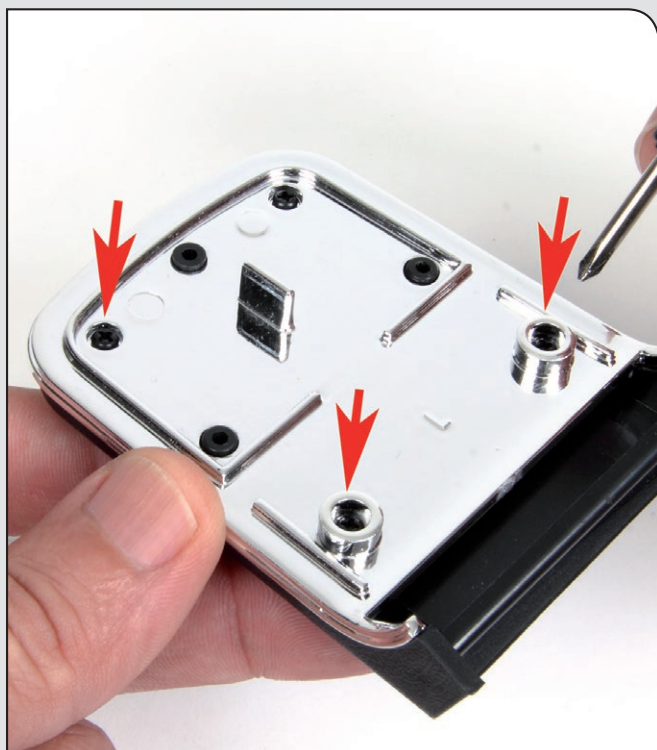
Step 5-E

ビスを取り付ける前に、2つのパーツが端に沿ってぴったり合っていることを確認してください。



Step 5-F

MP01のビス(5-3)を使って右上部分を軽く締めます。



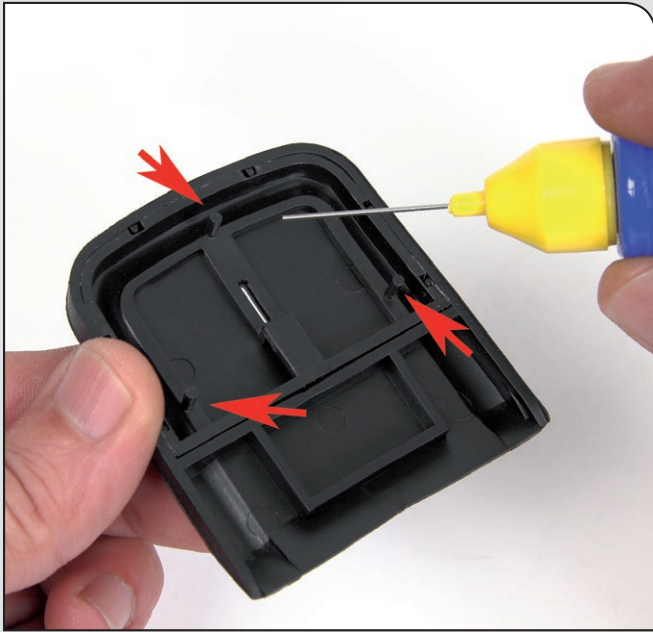
Step 5-G

MP01のビスでほかの3つの部分も軽く締めます。その後で全てのビスをしっかり締めます。



Step 5-H

背もたれ前部(5-4)を用意し、その裏面に3つの突起があることを確認します(矢印)。この突起を背もたれ後部のフレームから突き出た穴(Step5-D)に合わせます。



Step 5-I

背もたれパーツの接合強度を上げるためには、少量のプラスチック接着剤を3本の突起の先に塗布すると良いでしょう。



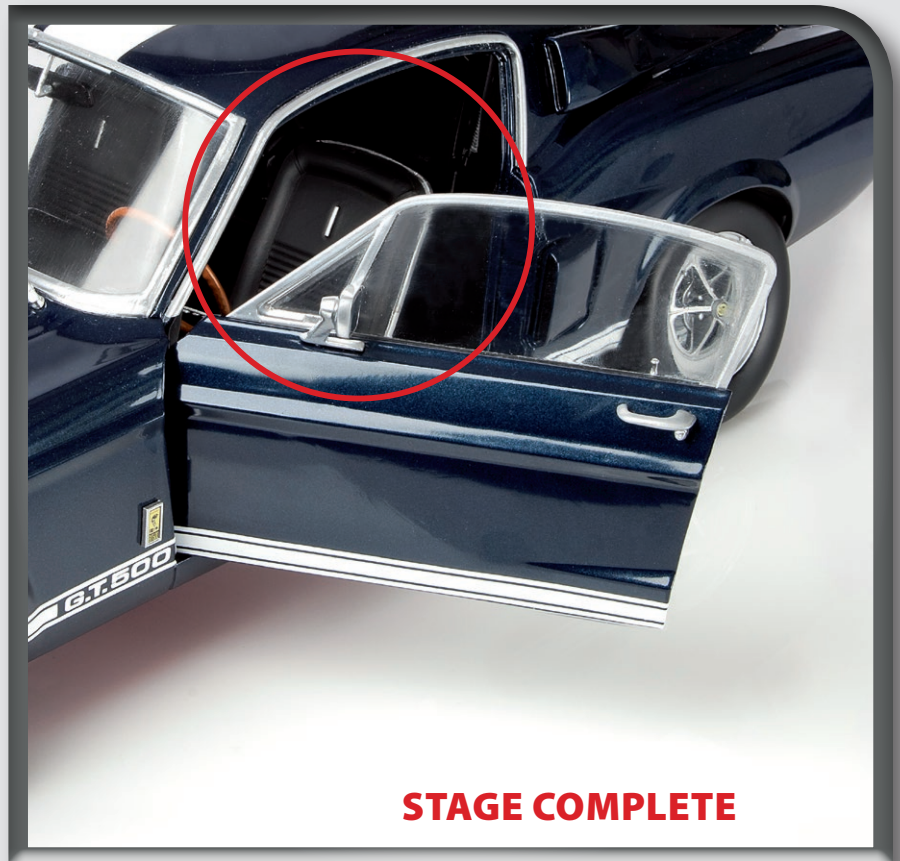
Step 5-J

背もたれ前部と後部を組み合せてみます。



Step 5-K

背もたれ後部に取り付けたフレームの突起部分が、背もたれ前部の穴と位置がぴったり合っていることを確認します。



STAGE COMPLETE